

補助金評価シート

区分	重点・重点以外	補助根拠	法令補助	・その他補助	開始時期	令和5年4月1日	終期	令和6年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市生活困窮者支援活動補助金 ・生活困窮者の支援ニーズに応えるための支援体制の整備						
款・項・目		民生費・社会福祉費・社会福祉総務費						
所属等		福祉部福祉総務課保護室 電話31176						

年 度		令和3年度（1年目）		令和4年度（2年目）		令和5年度（3年目）	
予算額等の推移	予算(千円)			2,500	国 2,500	5,000	国 2,500
	決算(千円)			2,000	国 2,000	4,000	国 2,000
補助率				10/10		10/10	

目 標	・生活困窮者の支援ニーズに応えるための支援体制の整備 <目標が数値でない場合の評価方法> ・事業の実施状況、成果等の評価						
-----	--	--	--	--	--	--	--

目標に対する達成度（指標）	達成率100%以上						
	達成率 80%以上						
	達成率 50%以上						
	達成率 50%未満						
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づき達成度について記入してください			・生活困窮者の増加する支援ニーズに対応するため、各団体が食料支援や女性の貧困などの分野において役割を果たしたことで、支援ニーズに応えることができた。			・生活困窮者の増加する支援ニーズに対応するため、困窮世帯に対する食料支援や女性の貧困に関して相談・援助を行うなどの活動を実施し、支援ニーズに応えることができた。

補助事業者による情報の公表	各事業者のホームページに掲載。評議会（総会）で決算、活動状況の報告等。
---------------	-------------------------------------

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 生活困窮者の支援体制を維持する必要があるなかで、物価高騰等の影響を受けて支援ニーズが増加している支援団体に対して、緊急的に支援を行う観点から補助率を10/10としている。 <g～hにおける取組> 生活困窮者支援団体の活動継続や体制整備などを目的としているため、数値化が難しい。			
	目標未達成の原因分析	<期間（3年）を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
		① 拡充・改善（補助率、補助額、補助対象経費、その他） ② 継続 ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること コロナ禍において、生活困窮者の支援ニーズに応じた支援体制を整備できたことで、事業の目標を達成したため。今後、新たなニーズが発生した場合などは、各団体への支援体制整備の必要性について検討する。			